

主な出来事

【内政】

- 6月8日、ルアンダ州の封鎖が7月8日まで延長された(当館注:7月に入り8月7日まで再延長)。
- 6月1日、アンゴラ政府はCOVAXによる10万620回分のファイザー製ワクチンを受領した。
- ジョアナ・リナ／ルアンダ州知事が罷免され、新知事にアナ・パウラ・シャントレ・ルナ・デ・カルヴァーリョ国土管理副大臣が任命された。
- 6月22日、憲法改正案が賛成多数、反対0票(棄権56)で国会可決された。

【外交】

- 6月2日、マハメト・イドリス・デビー／チャド軍事移行評議会議長がアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領と会談を実施した。
- 6月2日、ロウレンソ大統領はオンライン形式で開催されたCOVAXワクチン・サミットに参加した。
- 6月4日、ロウレンソ大統領はブラザビルで開催された中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)首脳会合に出席した。
- 6月23日、ロウレンソ大統領は、大湖地域国際会議(ICGLR)議長の立場で、国連安保理で開催された中央アフリカ情勢に関するセッションにて演説を行った。

【経済】

- 6月9日、IMF理事会は拡大信用供与(EFF)の第5回レビューを完了し、アンゴラに対する約7億7,200万ドルのディスバースメントを承認した。
- 6月8日、ダヴェス財務大臣は、アンゴラ政府とIMFが現行のEFFに続く融資プログラムの実施に関する交渉を行っている旨発表した。
- 6月21日、ロウレンソ大統領及びオーメン通信・情報技術・マスコミュニケーション大臣は、フィッテ駐アンゴラ米国大使及びアフリセル・グループ役員らと会談した。

内政

1. COVID-19 関連措置

(1)6月8日、ルアンダ州の封鎖が7月8日まで延長された。また、アンゴラ人および外国居住者の再入国やアンゴラで職務にあたる外国人の入国等を例外として、国境封鎖が維持された(当館注:7月に入り8月7日まで再延長)
[\(6月8日付大統領令第150/21号\)](#)。

2. 感染状況

- (1)6月30日時点における国内の累計感染者数は38,849名(内、累計死亡者数900名、累計治癒者数33,242名)であった([GOV 7/1](#))。
- (2)6月30日、ルトウクタ保健大臣は、これまでに国内で確認され、現在最も感染者数が多いアルファ株及びベータ株に加え、ガンマ株1例及びデルタ株4例の感染症例が確認された旨発表した([RNA 6/30](#))。

3. ワクチン関連

(1)6月1日、アンゴラ政府はCOVAXによる10万620回分のファイザー製ワクチンを受領した。アフリカでは3か国目のファイザー製ワクチン受け入れ国となった。ルトウクタ保健大臣は、今回到着したワクチンの接種対象には、タクシーやバスの運転手など戦略的産業の従事者等が該当する旨述べた([AP 6/1](#))。

(2)6月29日、アブレウ運輸大臣は、ワクチンパスポートの導入に関する協議が国内で行われており、現時点で政府は、空路での渡航における電子セキュリティシステム導入に向けた準備を進めている旨発表した([JA 7/1](#))。

(3)6月29日、ルトウクタ保健大臣は、アンゴラはワクチンの不足分を補うために、「7月前半に追加のワクチンを受領する見込みであり、スプートニクV及びアストラゼネカ製ワクチンの2回目の接種の実施の案内を行う予定である」と述べた。また、同大臣は、ワクチン接種戦略は(感染抑制のための)重要な武器であり、人々の生命を守り救うと述べた上で、「我々には3月2日に開始したワクチン接種計画がある。国外で効果が出ている安全で承認されたワクチンを使用している。COVAXや二国間での合意によってワクチンを調達しているところであり、今後AUとも協働して取り組む予定である」と強調した。更に、今後接種回数が1回であるジョンソン・ジョンソン製ワクチンも受領見込みである([JA6/30](#))

4. ルアンダ州知事の交代

ジョアナ・リナ／ルアンダ州知事が罷免され、新知事にアナ・パウラ・シャントレ・ルナ・デ・カルヴァーリョ国土管理副大臣が任命された。新国土管理副大臣には、マヌエル・ジョゼ・ダ・コスタ・モラレス・ダブリル氏が任命された([AP 6/30](#))。

5. 憲法改正案の国会可決

6月22日、憲法改正案が賛成多数、反対0票(棄権56)で国会において可決された。今般の憲法の一部改正では、「在外アンゴラ人の投票」及び「地方自治体選挙における段階的移行原則に関する条項の削除」(当館注:本改正案は、現行憲法の「段階的移行原則」が立法府による地方自治体の組織化に関するより良い決定の可

能性を阻害すると指摘)が焦点となった([GOV 6/22](#))。

6. 汚職関連訴訟

スウェーデンの仲裁裁判所は、カルロス・サン・ヴィセンテ前AAA保険取締役社長(アゴスティーニョ・ネト元大統領の義理の息子)がアンゴラ政府に対し国内外の資産差押さえの解除を求めた訴訟において、原告の訴えを棄却した(当館注:2020年8月、スイスの裁判所は、原告のマネーロンダリング疑惑を受け、9億ドルの預金がある原告の銀行口座を凍結させた)([AP 6/17](#))。

7. 若者による反政府デモ活動

6月26日、ルアンダ市で約200名の若者が抗議活動の実施を試みるも、警察により解散させられた。「REVUS(当館注:アンゴラ革命活動と称される、若者活動家により結成される団体)として知られる団体は、ロウレンソ大統領の解任を求めることを目的としていた。他方、同26日、ルアンダ市でロウレンソ大統領を支持するMPLA州委員会の行進も行われた([VOA 6/26](#))。

8. 刑務所4施設の新設

6月16日、内務省はカビンダ州カコンゴ市、モンコ州モシコ市、クアンザ・スル州カソツソ市、ビエ州クケマ市に刑務所を建設するため、1兆3億クワンザを拠出する旨発表した([AP 6/17](#))。

9. ビジネス環境改善計画の承認

6月29日、閣議経済委員会は、ビジネス環境改善計画を承認した。同計画には、2022年4月までに実施される主要な活動が明記されており、世界銀行が毎年発表する「Doing Business」における指数及び順位の改善を目的とする(当館注:2020年報告書で190か国中177位)([AP 6/29](#))。

10. 旅券の電子化

内務省移民局(SME)は、本年中に、個人識別のセキュリティを備えたIC旅券に切り替え、本年第4四半期にはIC旅券の発行を開始予定と発表した。なお、外国人居住カードや査証発給については、人口が多い国内7州において既に電子化が導入されている([AP 6/2](#))。

11. 「Simplifica 1.0」プロジェクトの発表

6月23日、アンゴラ政府は中央・地方行政手続きの簡素化(Simplifica 1.0)を発表した。ペドロ・フィリペ行政・労働・社会保障副大臣は、同プロジェクトは公益の手續及び国民生活・企業活動に係る諸手續の簡素化に焦点が置かれている旨説明した。「Simplifica1.0」には、運転免許証と自動車所有証の統一化や、身分証明書、旅券等の取得に関する行政手續を含む32もの手續の簡素化が盛り込まれている([AP6/23](#))

外交

1. アンゴラ・チャド首脳会談

6月2日、マハメト・イドリス・デビー／チャド軍事移行評議会議長(当館注:イドリス・デビー・イトゥノ／前チャド大統領子息であり、本年4月の同大統領の死後、評議会議長に選出された)がアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領と会談を実施した。マハメト評議会議長は、ロウレンソ大統領にチャドの政治・軍事情勢を説明した上で、安定化に向けた支援を要請した([AP 6/2](#))。

2. 大統領のCOVAXワクチン・サミット参加

6月2日、ロウレンソ大統領はオンライン形式で開催されたCOVAXワクチン・サミットに参加し、アンゴラは経済的困難な状況にもかかわらず、保健、教育、国防及び治安分野に携わる人々の献身的な活動と政府による協調的な政策を通じて、最も脆弱でリスクが高いグループを保護するために可能な限りの取組を行っているなどと述べた。また、ワクチンのコールドチェーンとサプライチェーンを強化するために、アンゴラは新たにワクチン中央保管倉庫を建設し、すでに6つの州において、ワクチン接種と供給管理のためのデジタルプラットフォームを導入している旨説明した([AP 6/2](#))。

3. 大統領のECCAS 首脳会合出席

6月4日、ロウレンソ大統領はブラザビルで開催された中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)首脳会合に出席した。ECCAS加盟国各首脳は、チャド軍事移行評議会と反政府勢力に対し、和解への唯一の方法は包括的

な対話であるとし、チャドの政治体制移行への支援強化を表明した。また、首脳会合後、大統領はフォースタン・アーシャングジュ・トゥアデラ中央アフリカ共和国大統領と会談した([JA 6/5](#))。

4. 国連安保理会合における大統領演説

6月23日、ロウレンソ大統領は、大湖地域国際会議(ICGLR)議長の立場で、国連安保理で開催された中央アフリカ情勢に関するセッションにて演説を行った。大統領は、アンゴラは2020年11月にICGLR議長国に就任し、2年の任期において、大湖地域の和平、安全保障、安定及び発展にかかる課題に対処するべく、二国間及びAU、EU、国連をはじめとするマルチでのパートナーとの協力に基づき、ICGLRを活性化させ強化する意向である旨述べた。また、中央アフリカ情勢について、同国が自力で前進し、外国部隊の撤退後に独自の安全保障を確保するための条件を整えるために、武器禁輸措置を解除する必要がある旨説明した([GOV 6/23](#))。

5. 運輸大臣のトルコ訪問

6月8日、リカルド・デ・アブレウ運輸大臣は、トルコを訪問し、アディル・カライスマイルオール／トルコ運輸・インフラ大臣と会談し、民間航空分野及び鉄道インフラ分野での協力について意見交換を行った。その他、アブレウ運輸大臣は、ボスポラス海峡を横断するユーラシアトンネルを建設したトルコ企業Yapi Merkezi社の訪問などを実施した([JA 6/8](#))。

6. アンゴラ・インドネシア経済協力フォーラムの開催

6月15日、アンゴラ外務省及びインドネシア外務省のイニシアティブにより、オンライン方式でアンゴラ・インドネシア経済協力フォーラムが開催された。インフラ開発及びその他の戦略的分野における二国間関係の強化を目的とし、道路建設・整備、モビリティの現状、住宅プログラム、民間投資事業の融資の状況に関する意見交換が行われた([AP 6/14](#))。

7. アンゴラ・中国軍事関連

ロウレンソ大統領は、中国企業CATIC社から軍需品を購入するため、8,500万ドルの資金拠出を承認した(当

館注：軍需品の詳細は不明）。政府は、以前にも同社から中国製軍用機(K-8W)を購入している。アンゴラにとって最大の航空資材供給国はロシアであるが、近年中国はアンゴラ国軍への戦略物資供給国としてのプレゼンスを高めている(AN 6/16)。

8. 中国企業によるワクチン関連支援

6月12日、保健省は、中国の招商局慈善基金会(China Merchants Fundation)が贈与するワクチン保管機材490台(ソーラー冷凍庫及びパネル150台、電気装置40台、保冷ボックス300個)を受領した。ルトウクタ保健大臣は、COVID-19 ワクチンに関し、「アンゴラはシノファーム製ワクチンの調達につき中国と交渉中である」と言及した(AP 6/12)。

9. 中国・ポルトガル語圏諸国間の経済協力

6月18日、ジョアン・サルヴァドール・ドス・サントス・ネット在中國アンゴラ大使は、マカオ・フォーラム常設事務局の会合において、マカオ・フォーラムによる公衆衛生及び経済面での支援をより具体化かつ明確化させることが必要であると主張した。同事務局会合では、本年10月のマカオでの閣僚級会合で署名予定の共同声明案がフォーラム参加国の在中國大使に提出された(AP 6/18)。

10. 財務大臣のアフリカ開発銀行(AfDB)年次総会出席

6月23日～25日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣ら一行は、オンライン形式で開催されたアフリカ開発銀行(AfDB)年次総会に出席した。アンゴラは、短期格付の低下や大企業の財源不足などにより、2021年及び2022年は同行から追加融資を得る余裕がないため、追加融資については協議せず、同行との協力関係を維持する意思を表明するに留まった(AN 6/27)。

11. アンゴラの SADC 臨時首脳会合等出席

(1)6月23日、SADC 臨時首脳会合が開催され、アンゴラからはエウジェニオ・ラポリーニョ内務大臣が大統領代理として出席した。同会合において、アンゴラは支援物資を通じて SADC によるモザンビークのカーボデルガード州における対テロ対策への取組を支援していく旨述

べた(JA 6/25)。

(2)6月28日、オンライン形式で SADC 閣僚会合が実施され、テロに直面するモザンビークのカーボデルガード州の情勢に対処するための SADC 待機部隊のオペレーション及び軍備のため1,200万ドルの支援が決定された。資金源は、第一に緊急事態基金及び加盟国による拠出金となる見込み。また、同会合では、拠出期限を7月9日までとする加盟国により分割される700万ドルの支援も併せて決定された(JA 6/29)。

経済

1. IMF 第5回レビューの完了

(1)6月9日、IMF理事会は拡大信用供与(EFF)の第5回レビューを完了し、アンゴラに対する約7億7,200万ドルのデリスバースメントを承認した。これまでにデリスバースされた金額は合計約39億ドルに上る(JA 6/11)。
(2)IMF 第5回レビューの完了に関し、ジュニオル大統領府経済調整担当大臣は、「アンゴラが肯定的な評価を得られたことは、アンゴラを取組に対する国際金融界の信頼を示している」などと述べた。また、ダヴェス財務大臣は、今般のレビューでは、6つのパフォーマンス基準のうち準外貨準備高、マネタリーベースの上限、非石油プライマリー財政赤字の縮小、延滞債務、石油担保借入の抑制の5つを遵守したことについて肯定的な評価を受けたなどと述べた(JA 6/15)。

2. 将来的なIMF融資プログラムの実施に関する交渉

6月8日、ダヴェス財務大臣は、アンゴラ政府とIMFが現行のEFFに続く融資プログラムの実施に関する交渉を行っている旨発表した。また、同財務大臣は COVID-19 感染拡大により保健分野の支出が増大し、油価が下落するなど、アンゴラ経済は大きな悪影響を受けたと述べた上で、現在進行中である中央銀行による金融政策に加えて適切な経済対策を講じる必要がある旨付け加えた(AP 6/8)。

3. DSSIによる債務返済猶予期間の延長要請

6月9日、ダヴェス財務大臣は、アンゴラは債務返済猶予イニシアティブ(DSSI)の猶予期間に関し、2021年7月1日から2021年12月31日まで延長を要請する旨を発表した(NAM 6/9)。

4. 大統領のアフリセル社との会談

6月21日、ロウレンソ大統領及びオーメン通信・情報技術・マスコミュニケーション大臣は、フィッテ駐アンゴラ米国大使及びアフリセル・グループ役員らと会談した。同大臣は、「アフリセル社は本年12月にサービスを開始し、アンゴラの若者5,000人を雇用する予定である。同社の市場参入は雇用、ビジネス競争、サービス向上という点で供給バランスを生み出す。これは国家開発計画の電気通信分野でアンゴラ政府が掲げてきた目標でもある」などと述べた(JA 6/21)。

5. エティハド航空によるドバイ・ルアンダ便の運行開始

6月17日、カリード・アルムヘイリ駐アンゴラ／アラブ首長国連邦大使はフェルナンド・ダ・ピエダーデ・ディアス・サントス国会議長と会合を実施し、近々エティハド航空がドバイ・ルアンダ間の運航を開始する旨報告した(JA 6/18)。

6. オランダ企業及び仏企業が燃料サプライヤーに

6月24日、燃料供給に関する公開入札において、オランダ企業 Vitol 社及びフランス企業 Totsa 社が契約を獲得した。2021年8月以降12か月間、アンゴラ向けにガソリン及び軽油を輸出する予定(AP 6/24)。

7. ファーウェイ・サブサハラアフリカ社長の訪問

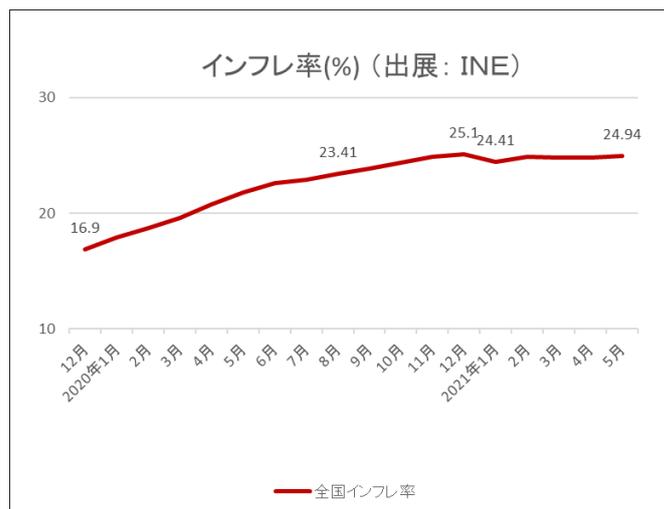
6月16日、ロウレンソ大統領は、Chen Lei ファーウェイ・サブサハラアフリカ社社長と会談を行った。大統領との会談後、Chu Xiabin ファーウェイ・アンゴラ社社長は、アンゴラのデジタル経済開発に関する課題に対応するために有意義なものであったと述べ、電気通信分野のインフラと(人的)才能がデジタル経済の発展を左右すると強調した(JA 6/17)。

【主要経済指標】

1. 物価

国家統計院(INE)が発表した5月のインフレ率は、全国平均で前月比2.03%、前年同月比24.94%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(1.39%)、衣類・靴(0.07%)、住宅、水、電気、燃料(0.06%)、保健(0.07%)、家具、家財、メンテナンス(0.08%)、運輸(0.09%)、モノ・サービス(0.14%)。



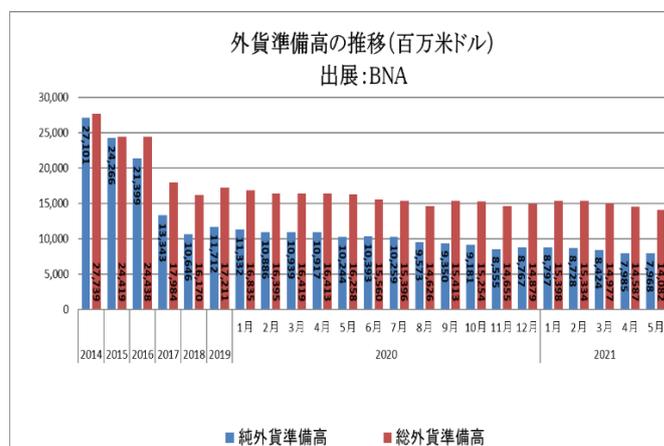
2. 金利

金融政策委員会(CPM)は開催されず。

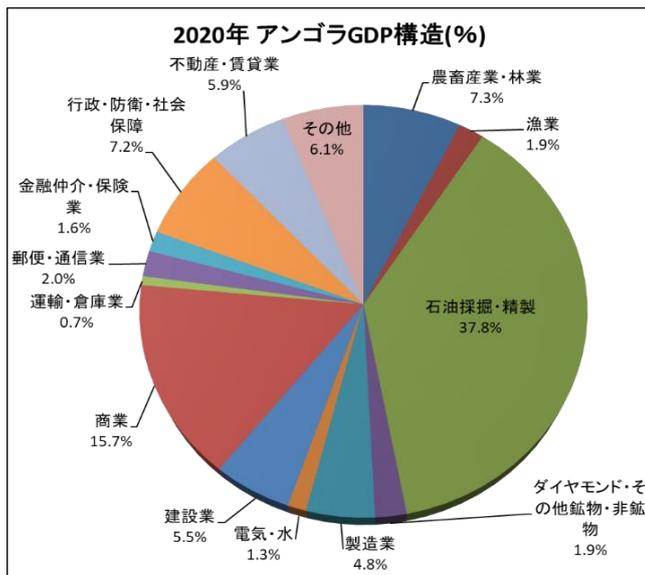
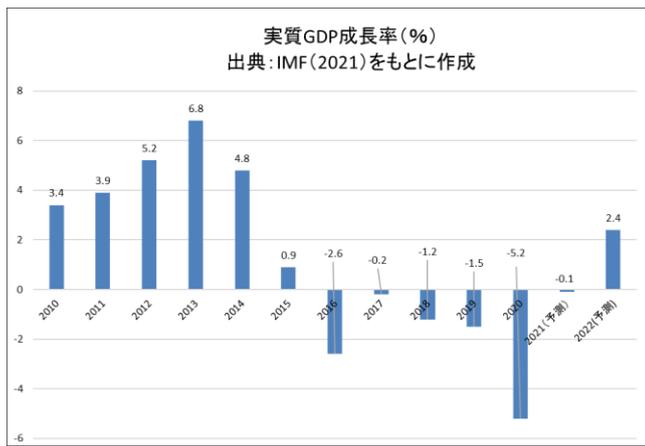
3. 為替市場

6月30日、為替相場は1USD=653.168AKZで推移。

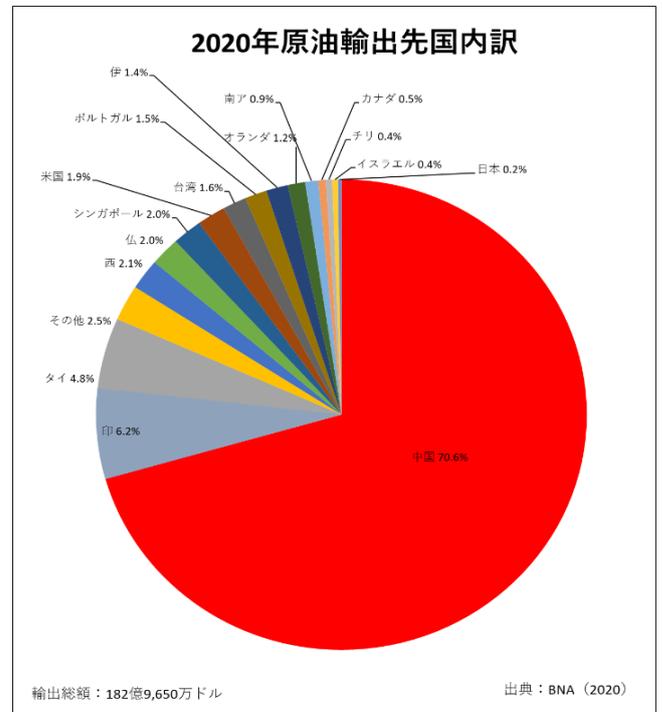
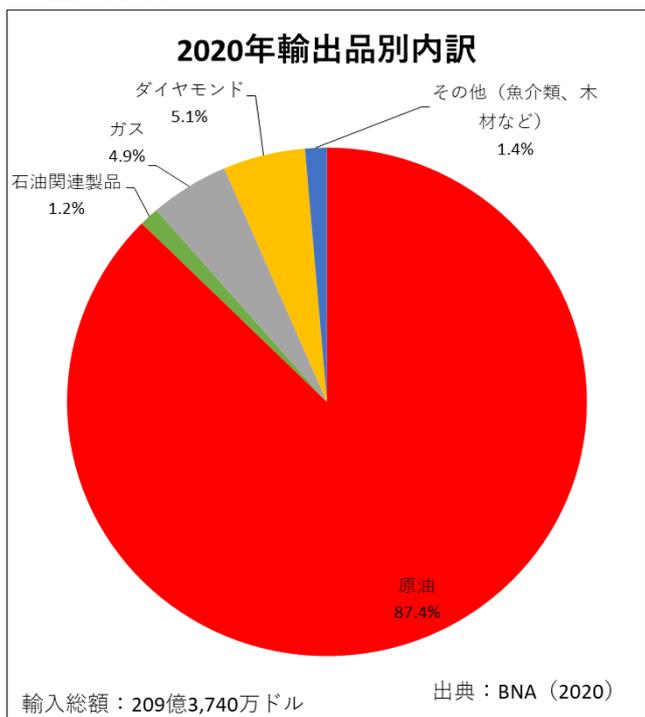
4. BNA 発表の外貨準備高統計



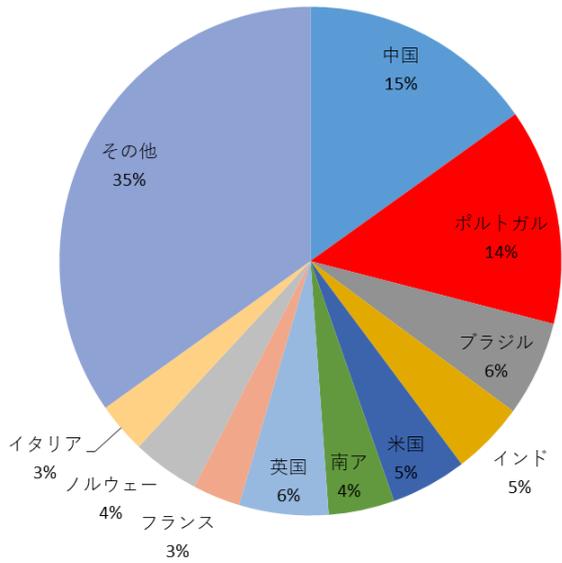
5. GDP及び成長率



6. 主要貿易統計

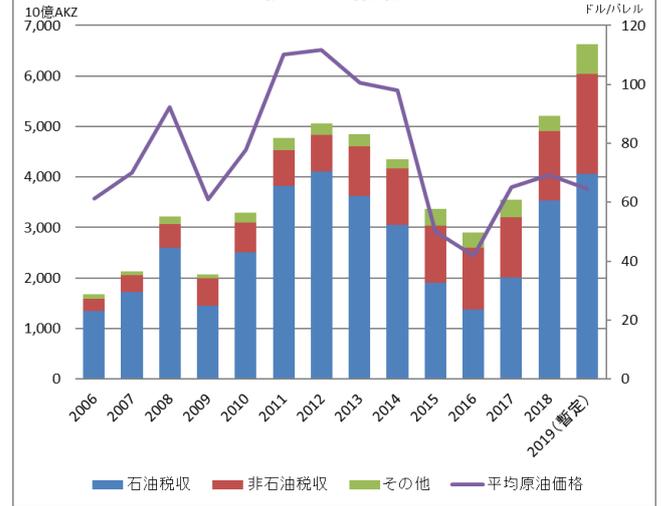


2020年輸入先国内訳



輸入総額：95億4,310万ドル 出典：BNA (2020)

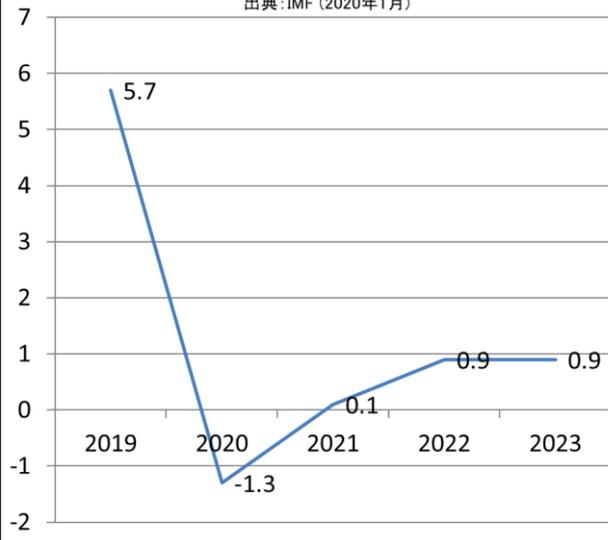
税収の推移



7. 財政主要統計

経常収支(対GDP比)

出典:IMF (2020年1月)



AA: All Africa、 AC: アンゴラ華人報、 AN:Ango Notícias、 AO: Angola Online、 A024:Angola 24 horas、 AP: Angop、
 BB: Bloomberg、 CK: Club-K、 CRK: Correio Kianda、 DN: Diario de Noticias、 DV: Dinheiro Vivo、 DW: Deutsche
 Welle、 EG: E-Global、 EIU: Economist Intelligence Unit、 EN: Euro News、 EX: Expansão、 EXP: Expresso、 FT:
 Financial Times、 FM: Forum Macao、 GOV: Government' s Official Portal、 JA: Jornal de Angola、 JN: Jornal de
 Negocios、 LS: Lusa、 ME: Mercado、 MH:Macau Hub、 MR: Mining Review、 MW: Mining Weekly、 NAM: Noticias ao
 Minuto、 NJ: Novo Jornal、 OBS: Observador、 OP: O País、 PA: Portal de Angola、 PB: Publico、 RE: Reuters、
 RFI: Radio France Internationale、 TPA: Televisão Pública de Angola、 VA: Ver Angola、 VE: Valor Económico、
 VG: Vanguarda、 VOA: Voice of America、 WB: World Bank、 WSJ: Wall Street Journal、 XN: Xinhua Net